

令和7年度

松くい虫航空防除対策業務

仕 様 書

令和7年5月

青森県農林水産部林政課

第1 総則

本業務の施行にあたっては、「青森県土木工事共通仕様書」に基づき実施しなければならないほか、別紙1「青森県無人航空機空中散布等実施要領」及び「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン（農林水産省）」、「産業用無人マルチローターによる病虫害防除実施者のための安全対策マニュアル（（一社）農林水産航空協会）」と特記事項を定めた本仕様書により実施しなければならない。

第2 業務概要

松くい虫防除のため、無人マルチローター等を用いて行う空中からの薬剤散布を行う。

第3 事前協議等

- 1 薬剤散布の日時については、発注者と協議し、その指示に従うとともに、カミキリの成虫が飛び始める前までに散布を終えること。
なお、カミキリの成虫が飛び始める時期は、春先からの気温（積算温度）に左右され、例年より気温が高い期間が続くと、カミキリの飛び始める時期が早まることが予想されるため、散布日時の変更に対応できるようにすること。
- 2 受託者は、現地状況の把握に努め、薬剤散布実施計画書（様式1）と危被害対象物件及びその安全対策（様式2）を作成し提出すること。
- 3 散布区域と隣接して農地（水田、畑等）が存在する場合は、農作物の残留農薬基準への影響を考慮する必要があるため、薬剤の選定等について事前に協議すること。

第4 散布の周知

実施区域に係る地域住民等に対して、予め実施予定日時、区域、薬剤の内容等について周知するとともに、実施に際して協力を得るよう努めること。

また、天候等の事情により薬剤散布の実施に変更が生じる場合には、変更に係る事項について、周知徹底を図ること。

第5 危被害の防止

薬剤散布を行うときは、その実施場所及び周辺区域に関し、危被害防止に万全を期すること。

第6 散布方法等

- 1 松の梢端部を対象に散布もれのないよう実施すること。
- 2 降雨中、降雨直後及び散布後まもなく雨が予想されるときや、霧が発生しているときは散布を行わないこと。
- 3 薬剤の指定：マツグリーン液剤2を使用し、設計の希釈率及び散布量を遵守すること。

- 4 風速（地上 1.5m の位置）が 3 m／秒を超えるときは散布しないこと。
- 5 農薬使用基準に基づいた使用を行うこと。
- 6 風向きを確認し、噴霧液を直接浴びないよう、また、周囲に飛散しないよう散布位置に気を付けて行うこと。
- 7 飛行高度は、樹冠上より 3 ～ 4 m 以下で散布すること。
- 8 飛行速度は時速 20km 以内とし散布装置の能力、散布量を考慮し速度を決定すること。
- 9 散布区域には、散布の 3 日前に注意標識例（様式 3）を参考に標識を設置し、必要に応じて交通規制等の措置を講ずること。

第 7 飛散防止対策

- 1 緩衝帯を 20 m 確保すること。
- 2 飛散による影響のおそれのある対象物に対して平行散布を行うこと。また、対象物へ向けた散布飛行は避け、どうしても対象物に向かって散布しなければならない場合は、風の状況に応じて数回、枕地をとって平行散布を行うこと。
- 3 散布を行いながら、前進散布からの機体の引き起こし、旋回を行わないこと。
- 4 散布時の風向きや風の強さに応じて、散布基準の範囲内で散布飛行速度を抑えた低空飛行を行う。

第 8 日誌の作成

受託者は、薬剤散布日誌（様式 4）及び薬剤散布日誌集計表（様式 5）を作成し提出すること。

第 9 段階確認及び確認事項

1 段階確認

本業務における段階確認は、次により行うものとする。なお、臨場確認を原則とするが、両者の都合等によりやむを得ない場合は机上確認によるものとする。

項 目	頻 度	内 容
材料検収	全量	使用薬剤の品質及び数量の確認
空袋確認	全量	使用薬剤の空袋数量の確認

2 確認事項

受注者は本業務の期間中、1 回以上は次の項目について確認を受けるものとする。なお、臨場確認を原則とするが、両者の都合等によりやむを得ない場合は机上確認によるものとする。

項 目	内 容
散布状況	本仕様書第 6 に基づき行われているか確認

第 10 写真管理

本業務における写真管理は、次のとおり行うものとする。

内 容	撮影基準	
	散布面積 50ha 未満	散布面積 50ha 以上
散布状況	2ha ごとに 1 箇所以上	25 箇所以上
薬剤投入・調合	全量	
風速測定	散布実施日ごと	
薬剤数量	全量	
(その他) 作業前ミーティング、安全教育 注意標識等	適宜	

第 11 その他

- 1 使用薬剤の農薬登録の際の使用方法及び使用上の注意事項並びに農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）第 25 条第 1 項に規定する基準等を遵守し、立地条件及び気象条件等を十分勘案の上、安全かつ適正な実施に努めるものとする。また、農薬の安全使用を図るため、散布作業構成員の中に農薬の安全使用に関する資格者を含めることとする。
- 2 使用する薬剤については、農薬登録の際の貯蔵上の注意事項を遵守し、安全に管理するものとする。薬剤使用後の空容器は適切な処理により廃棄するものとし、処理後にマニフェストの写しを提出するものとする。
- 3 作業員等に対し、農薬の取扱いについての注意事項、作業時の服装及び健康状態等について事前に十分安全教育を実施し、事故の未然防止を図るものとする。
- 4 周辺環境（道路、施設、養蜂業等）への危被害防止を図るため、散布時間を制限する場合は、散布箇所及び散布時間に係る内容等について両者協議のうえ決定するものとし、必要に応じて設計変更で対応するものとする。
- 5 この仕様書に定めない事項については、両者協議のうえ定め実施するものとする。

条件明示

業務の実施にあたっては、青森県県土整備部制定「共通仕様書」その他指定された図書を参考とし、かつ以下の事項について業務の条件とします。

第1 委託業務内容

1 実施場所(詳細別紙図面)

青森県西津軽郡深浦町

麴木地区

追良瀬地区

広戸地区

大間越地区

2 実施面積 $A = 51 \text{ ha}$

3 散布回数 2回(6月、8月)

4 使用薬剤 マツグリーン液剤2

第2 積算基準

1 参考図書

設計図書の外に掲示する「参考図書」については、入札参加者の迅速な見積に対しての資料として掲示するもので、委託契約上拘束するものではないので留意して下さい。

2 委託費の積算は、次の諸経費率により実施しています。

- ・ 共通仮設費率 8.4%
- ・ 現場監督率 21.0%
- ・ 一般管理費率 18.0%

3 薬剤費は、「マツグリーン液剤2」で積算してください。

マツグリーン液剤2：希釈倍数10倍，原液量1ℓ

第3 その他

1 関係機関との協議事項

- ・ 特になし

2 他工事(業務)との関連事項

- ・ 期間中、松くい虫被害木の伐倒・破砕作業を実施する予定です。薬剤散布にあたっては、松くい虫被害木の伐倒・破砕作業の受注者と協議うえ、散布日をお知らせください。